

なめりかわ 市議会だより

No.203

令和3年8月1日発行

滑川市議会

☎(076) 475-2111

E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校3年 棚橋花音さんの作品)



情報技術調査特別委員会を開催し、タブレットを使用したZ o o m会議の中で、ペーパーレス化についての研修を行いました。

令和3年6月定例会一覧

○本会議（主な内容）			開会 6月7日	閉会 6月21日
7日	会期の決定	提案理由説明	会期15日間	
14日	代表質問・一般質問	補足説明		
15日	一般質問	議案の委員会付託		
21日	委員長報告・質疑・討論・採決	追加提案		
	提案理由説明・採決	議員提出議案		
	提案理由説明・質疑・討論・採決	閉会中の継続審査		
○委員会				
7・15・17・21日	議会運営委員会			
16日	総務文教消防委員会			
17日	産業厚生建設委員会			
○議案の審議結果				
予 算（原案可決）	1件			
条 例（原案可決）	8件			
人 事（原案同意）	1件			
そ の 他（原案承認）	1件			
そ の 他（原案可決）	1件			
議員提出（原案可決）	3件			
議員提出（原案否決）	1件			
合 計	16件			

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は9月です。



なめりかわ 市議会だより

◆令和3年6月定例会

令和3年度一般会計補正予算(第1号) (2億3,817万2千円)

ほか、人事案件を含む市長提出議案12議案を可決

◆令和3年第1回臨時会

令和3年度一般会計補正予算(第2号) (2億6,570万円)

ほか、市長提出議案1議案を可決

6月定例会

本会議

◇6月7日に本会議を開き、まず会期を21日までの15日間と決めた後に、令和3年度一般会計補正予算及び条例等の市長提出議案11件及び報告3件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇14日、15日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問及び提出諸案件に対する質疑を行った後、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。◇最終日の21日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

市長提出議案11件については一括採決の結果、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

次に、市長から人事案件として滑川市監査委員に石田守氏(田中新町)

を選任することについて、追加提案され、賛成全員で同意としました。

その後、議員提出議案として4件の提案理由説明の後、採決を行い、「滑川市議会会議規則の一部を改正する規則の制定」、「滑川市議会議員政治倫理条例施行規則の一部を改正する規則の制定」及び「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」の3件を可決、「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書」については否決とされました。

最後に閉会中の継続審査を決定して、6月定例会を閉会としました。

常任委員会での審査 (主な質疑等)

各常任委員会等への付託案件はP12をご覧ください。

総務文教消防委員会

付託された7議案については、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆令和3年度滑川市一般会計補正予算(第1号)について

問 消防分団施設整備事業費において、ゴーグルを購入するとあったが、新型コロナウイルス関連の補助金か。また、どのくらい購入するのか。

答 当該事業は総務省消防庁の消防団設備整備費補助金消防団新型コロナウイルスウィルス感染症対策事業で、補助対象資機材のうち、ゴーグルを選定し、訓練時や避難所等での運営支援等のため、消防団員用に300個を整備する。

☆滑川市総合体育センター条例の一部を改正する条例の制定について

問 市長の認める高齢者団体と想定している団体とは、どのような団体であるか。また、スポーツ活動で年間を通し体育室を利用する場合となっているが、この年間の回数とは、月1回の利用か、年1回の利用でもよいのか。

答 高齢者団体としては、60歳以上で、6名以上の高齢者の方々と、概ね月1回以上の活動がある団体を想定している。また、わかりやすい運用規程を定めていきたいと考えている。

産業厚生建設委員会

慎重審査の結果、付託された6議案については、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

今回は、当局側の説明に対して、主だった質疑はなく、委員会を終了しました。

第1回臨時会

令和3年第1回市議会臨時会は、会期を7月9日の1日間と決めた後に、議案第39号「令和3年度滑川市一般会計補正予算（第2号）」及び議案第40号「第1坪川踏切拡幅工事に関する協定の締結について」の市長提出議案2件及び報告4件が上程され、市長から提案理由の説明があり、担当部課長から補足説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の常任委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、常任委員長から付託議案の審査結果の報告がありました。

次に、議案第39号に対する反対討

論が大浦議員から、賛成討論が中川議員からありました。

分離採決の結果、議案第39号については賛成多数で、議案第40号については賛成全員で、委員長の報告のとおり可決され、第1回臨時会を閉会としました。

議案第39号反対討論要旨

滑川市議会は、平成25年11月に「財政負担の軽減・平準化を図るため、今後の公共施設のあり方について検証し提言する。」という趣旨のもと、「公共施設のあり方検討特別委員会」を設置し、平成27年11月に公共施設全体の最適化を実現するために提言書を上田市長に手渡した。

人口減少・少子高齢時代において、厳しい財政状況下での地域経営が求められ、多くの公共施設が建設から10数年経過し建物及び施設の老朽化、利用者の減少、物価等の上昇は、地域経営にとって大きな課題であり、決して看過できるものではないとしている。策定から約5年経過しようとする今、時代は一つの大きな変換点を迎え、財務省シンクタンクである財務総研が行った、新型コロナウイルス感染症拡大の経済社会に

及ぼす影響と変化に関する調査報告では、当時の委員各位が懸念していた少子化は、これまでの想定を上回るペースで出生数が減少すると見込まれ、新型コロナウイルスによる経済状況は、過去の経済危機以上に出生数に悪影響が及んでいるとされた。

そして、物価等の上昇では、本整備事業の入札に不落を生じさせた一因でもあり、今回の追加予算案に関しても新型コロナウイルスの影響による鉄骨資材をはじめとする建設資材の納期の不確定さに加え、今後さらなる価格上昇も見据えた積算は、確実性に欠け予算審査の妨げとなるものと考ええる。予算を費やし施設建設が実施されたとして、議員各位は、地域住民の安心安全を確保するという今後の駅周辺の人口動態についてどう推測されているのか。滑川市財政は健全だから、資材が高騰したから、特別委員会からの要望も一部取り入れられているからなどといった理由で、今臨時会で諮られている補正予算額は致し方ないと考えられるのか。私には、予算執行を審査する議員の責任として、税の重みと補正後事業額に対する効果、必要性を考えた場合に、今回の対応方針は、決して看過できるものではない。約6

年前に議会から当局へ提言事項として、既成概念や従来からの方法にとられない時代を見据えた創造、将来にわたって発生する将来像を把握することが重要であると提言している。

今、この議場に在る私ともう一人の議員以外の方々は、当時、議会に在籍していたと認識しているが、この提言事項に対しては、深く賛同するものである。しかし、時代とともに地域の現状と施設の在り方との乖離が大きくなり、今後拡大が予想される施設建設に賛成してきたのは滑川市議会であり、責任あるものである。既成概念や従来からの方法にとられない時代を見据えた創造、将来にわたって発生する将来像を把握することに、議会としても今一度立ち返ることが必要ではないか。今回、私がこれまでに述べたことは、議員各位に対し、ご理解とご賛同を賜ることをお願いするものではない。

以前、上田市長からも説明があったように議会からの整備に関する催促や提言、整備を待ち望む市民に伝える事業である。担当課からはスピード感を持って実施しなければ市民サービスの停滞を招くことにつながるとあった。またこれまで各議員に

よる賛成討論の中でも、アンケートや地元座談会でも地域住民は、施設の建設を待ち望み、経過には問題がないと論じられていたが、同調査の中では、建物は不要だなどの反対意見があったことは当然ご承知と思う。私は一議員として人心から乖離することのない市政を目指し、予算執行を諮る機関として、市民の信頼と負託にこたえる議会であるために、責任を負うとともに、直接聴取した市民の声を尊重し、この中滑川駅前エリア整備事業に係る補正予算案に対し、反対するものである。

議案第39号賛成討論要旨

中滑川駅前エリア整備事業は、平成26年4月にJ AアルプスがJ A会館を解体されたことにより、地元田中新町町内会より、その会館跡地等を市で取得の要望が提出され、平成27年12月定例会において、中滑川周辺の土地を購入取得したものである。市では、第4次滑川市総合計画に基づき、平成28年に滑川市都市計画マスタープランの中で、中滑川駅周辺の整備基本構想と滑川市地域防災計画が同時に策定されており、これが基本構想の基礎となっている。こ

れにより市では、事業の検討に着手し、県内外の駅周辺の再開発先進地の視察や中滑川周辺町内会9箇所の皆さんとまちづくり座談会や滑川商工会議所まちづくり委員会など意見交換している。また、滑川高校2年生や滑川中学3年生にアンケートを実施し、意見、要望、アイデアが多く出され、参考になっている。

そうした中、整備の基本方針として①駅前の好立地を生かした新たなにぎわい空間の創出、②緑豊かで心安らぐ空間の創出、③安全・安心な駅前環境の整備、④公共交通の利便性向上のため交通結節点機能の強化としたものである。

また市議会では、平成29年12月に中滑川駅周辺整備検討特別委員会を設立し、これらのデータや先進地視察をもとに協議を進め、平成29年9月に総務文教委員会が上田市長に政策提案を提出した複合施設の建設及び運営に関する提案を考慮しながら協議を進め、平成30年9月4日に上田市長に中滑川駅周辺の整備に関する提案書を提出している。基本構想の中に市議会からの提案事項も何点か採用されている。

3月定例会の市長提案理由の中に、中滑川駅前エリア整備として、新年

度からの施設の着工に向け、鋭意準備を進めている。多くの市民が憩い、そして交流の場になるようににぎわいを創出する機能を加え、近年の激甚化する災害にも備えるため、避難スペースをはじめとする防災機能も確保しながら、災害に強い施設として市民に信頼され、幅広い世代の方々に利用していただける複合施設となるよう着実に整備を推進する。都市計画道路の整備についても、中滑川駅前広場の整備にも着手することとしており、中滑川駅前エリア整備事業と一体的に、迅速かつ円滑な施工に努めるとあった。

先週、太平洋側各地では非常に激しい雨が続き、特に静岡県熱海市伊豆山で大規模な土石流が発生し、家屋10棟以上が流され、約20名以上安否不明、300世帯が被災したとみられ、約260人が避難したという災害が発生した。こうした災害時には速やかな避難が必要となり、改めて避難所の必要性を感じられたのではと思う。

東日本大震災から10年たった。地域の皆さんが待ち望んでいる安全で安心して生活ができ、災害が発生した場合には速やかに避難でき、命を守ってくれる。また多くの人が集い交流の場を創出し、心豊かに毎日を

過ごす。地域の皆さんや中学生、高校生らの意見や提案を無駄にはできない。また滑川市及び中滑川駅前エリアの活性化のためにも必要な事業である。

市のより一層の発展、活性化そして市民、西地区、東地区の皆さんにはどうしても必要な施設、事業である。よって各議員には原案に賛成をお願いして、賛成討論とする。

産業厚生建設委員会での主な質疑

☆議案第39号令和3年度滑川市一般会計補正予算(第2号)について

問 今回の補正予算額2億6千570万円の財源が繰越金とのことだが、繰越金が減ることでは今後の財政に与える影響について伺う。

答 今回の補正予算額については、これまで2回の委員会協議会で説明してきたとおりであり、本事業は、総合計画にも掲げており、今後、推進していかなければならない重点事業である、事業の重要性、必要性からみても他の事業より優先される事業と考えている。

問 過去にこのような大幅な増額の事例はあったか。

答 過去にはない。

採決に入る前に、浦田委員から、2度の産業厚生建設委員会で説明はあったものの、全議員での議論する余裕もなく、説明不足としか言いようがないとの反対討論がありました。

日誌

3年5月

18日 議員定数及び報酬検討

特別委員会

24日 議会運営委員会協議会

25日 情報技術調査特別委員会

協議会

28日 産業厚生建設委員会協議会

富山地区広域圏事務組合

議会臨時会（立山町）

31日 議会運営委員会

6月 議会運営委員会

2日 議会臨時会（魚津市）

7月 議会臨時会（魚津市）

21日 議会編集委員会

23日 富山県東部消防組合

25日 産業厚生建設委員会協議会

30日 産業厚生建設委員会協議会

7月 議会運営委員会

2日 議会臨時会（魚津市）

7日 沖田川中流域治水対策促進

期成同盟会総会

8日 北朝鮮に拉致された日本人

を早期に救出する富山県地

方議員連盟理事会（富山市）

9日 議会運営委員会

定例議員協議会

第1回臨時会

議会編集委員会

新川地域観光開発協議会

総会（魚津市）

14日 議会編集委員会

26日 富山県日韓友好議員連盟

理事会（富山市）

産業厚生建設委員会協議会

代表質問

6月定例会では11名の議員が質問を行い、45項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、9月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、お持ち込みのシステムが搭載されており、お持ち込みのシステムが搭載されており、お持ち込みのシステムが搭載されていますので、ご利用ください。）

※質問者の最後のその他の質問は、掲載外の質問事項です。

代表質問



- 1 スポーツアカデミーサッカー場人工芝の傷みが多く目立っており、プレースター選手が滑って危険である。早期に人工芝を張り替え安全確保するべきではないか。
- 2 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について
- 3 フレイル対策について
- 4 中滑川駅前エリア整備事業について（会派＝会派自民）

中川 勲 議員



Q スポーツアカデミーサッカー場人工芝の傷みが多く目立っており、プレースター選手が滑って危険である。早期に人工芝を張り替え安全確保するべきではないか。

A 上田教育委員会事務局長 昨年度

までの8年間の平均で6万8千人の利用があった。当初見込み数は年間4万人ほど見込んで人工芝の耐用年数を10年程度と見込んでいたが、選手が集中するエリアの芝に劣化が進んでいると認識している。人工芝の張り替えについて施設管理者や県のサッカー協会と協議している。早期の改修に向けて検討していく。

Q 新型コロナウイルス感染拡大防止対策事務局は健康センター職員のみで、接種のPRや接種の案内の発送後の事務など行うのか。

A 上田市長 コロナ対策は各部門

全庁挙げて総合対策を行っている。市民の協力の下にワンチームで闘い、一人一人がうがい、手洗い、マスクなど徹底され、生活習慣となつて自分の自覚で防御する。

Q 日常生活において変化が出た家庭はないか。

A 石川副市長 社会福祉協議会へ

の緊急小口資金が149件、総合支援資金が55件の貸付けが出ており、家庭への影響が大きかった方がかなりいると考えている。

Q 新しい生活様式を取り組みで児童・生徒は大変であると思うが、学習面、精神面に変化はないか。

A 伊東教育長 学校では定期的に面談を行い、心の悩みを抱えている児童・生徒や家庭の状況にも把握に努め、一人一人に応じた指導を行っている。

Q 新型コロナウイルス対策のため外出を自粛する生活により、心身が衰えていくとのことであるが、対策をPRすべきではないか。

A 網谷産業民生部長 地域包括支援センターでは、感染症対策を実施した上で、介護予防教室を開催、ケーブルテレビの「かがやきテレビなめりかわ」において体を動かす機会を増やす体操を紹介する。

Q （仮称）中滑川複合施設の最初の入札はなぜ成立しなかったか。

A 岩城建設部長 4月26日に公告し、5月24日開札日として実施、入札参加申込みがあったが、その後辞退に伴い入札が中止となった。価格で折り合いがなかった。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



3 2 1

新型コロナウイルス対策について
国民健康保険について
「地域医療構想」による公立・
公的病院の再編について

(会派〓日本共産党議員団) 古沢利之 議員



Q 64歳以下の方へのワクチン接種は、基本的にどう考えているか。

A 石川副市長 65歳以上の方の後は、基礎疾患をお持ちの方、60歳から64歳以下の方へとやっていきたい。平日や日中以外の時間帯を希望される方が多いことも考えられる。夜間、土・日も含め滑川市医師会と調整を進めている。

Q 変異株の心配もある。ゲノム解析は県の衛生研究所で可能だが、検査数が少ない。拡充が必要だ。

A 石川副市長 県内で衛生研究所がその任を担っているの、市からも伝えていきたい。

Q 国民健康保険が県域化されて数年たつ。保険税の統一に向けた協議が始まるようだが、保険税統一についてどう考えているか。

A 網谷産業民生部長 現在、市町村間で医療費水準や保険料水準に差異があり、統一には課題が多い。県の運営指針では将来的に統一を目指すとしているので、引き続き議論することになる。

Q 保険事業など、市町村の独自事業も統一ということでは自治本来の姿から離れるのではないか。

A 網谷産業民生部長 独自の事業

や軽減策は、尊重されるべきものと認識している。しかし、将来的には統一を目指していると理解願いたい。

Q 子どもにかかる均等割は来年度から未就学児が軽減される。市独自に上乗せして軽減を検討すべきではないか。

A 網谷産業民生部長 均等割の軽減は、国の負担と責任で行うべきと考えており、独自の取り組みは考えていない。

Q 全国で「地域医療構想」の推進のために病床を削減した医療機関に国から交付金が出されている。厚労省は通知を出して、県に削減を働きかけている。コロナ禍にあつて、許されないことと考える。

A 網谷産業民生部長 市民の身近な地域の公的病院が機械的に再編統合されることは、市民の安全・安心な生活の確保に大きなマイナス要因になると考えている。

・防災対策について

一般質問



3 2 1

フードドライブについて
独り親への補助について
行田公園について

脇坂章夫 議員



Q 現在までの提供物の状況は。

A 石川福祉介護課長 5月末現在で155名の方から、お米約452キロ、缶詰、レトルト食品など2万5千533点、その他洗剤やマスクなど生活用品の温かい寄付があり、生活に困窮している方延べ68名と25団体へお渡しした。

Q 寄付のPRは。

A 石川福祉介護課長 広報10月、2月、3月、4月号に案内を掲載した。また、3月の民生委員児童委員会長会で本事業への協力を依頼し、今後も本事業が継続できるような社会福祉協議会と協力しPRに努めたいと考えている。

Q 独り親の子どもたちへの補助金について伺う。

A 落合子ども課長 死別により両親または片親の保護に欠ける中学生以下の児童に対して、市独自で遺族福祉年金の支給を行っており、また、母子寡婦福祉会の協力を得て、独り親家庭等の児童の中学校卒業時に記念品の贈呈を行っている。

Q 行田公園内に流れている中川の江ざらいについて伺う。

A 荒俣公園緑地課長 毎年5月に

ニジマス釣り大会が実施されているが、事前に中川や池の周辺の除草やごみ清掃を行っている。地元町内会でも年に1回程度江ざらいを行っている。

Q 平成27年11月16日に寺家小学校の5年生がドングリの木を植樹された。植樹された箇所の下草刈りなどの手入れがなされているのか。

A 荒俣公園緑地課長 なめりかわ森づくりクラブによるボランティアの協力で、下草刈りや下枝処理など行っている。

Q 公園内にあるような野鳥がたくさんいると聞いている。子どもたちと巣箱を取り付けてはどうか。

A 荒俣公園緑地課長 多くの野鳥を観察できることから、人気があり、数多くの方に来園いただいている。巣箱を作る等の取組については、話があれば協力したいと考えている。

その他の質問

・次期衆院選について

一般質問



1 公共施設の利用・運営状況について
2 ネーミングライツについて

大浦 豊 貴 議員



Q 令和2年度文化・スポーツ振興財団の管理・運営受託事業収入を除く経常収益・経常費用はどうか。

A 奥村財政課主幹 全体の経常収益は2億8千506万8千円、市からの管理・運営受託事業収入を除く収益は1億5千937万6千円となり、令和元年度と比較し2千800万円余り減収となった。経常費用については、前年度比86%となる2億8千764万3千円となる。

Q 文化・スポーツ振興財団が、受託する施設利用者の多くは市民だが、施設利用者が減少し困るのは誰なのか見解はどうか。

A 奥村財政課主幹 結果的に施設利用協力金という形で税を投入している。需要が減れば、原資は税と考えられ、市民全体に影響すると思われる。

Q 文化・スポーツ振興財団が担っている事業は、市民サービス・福祉増進だと考える。新型コロナウイルスによる自粛の決断をしたのは市民であり、財政負担はかかるものの市民全体で言えば誰も困らないと考える。しかし、本市の数年後の人口減少による人流の低下等考えた場合、収益・経費なり下

方修正が必要と考える。今後の施設運営の見直しに対する見解はどうか。

A 奥村財政課主幹 新型コロナウイルスの影響により、各公共施設については大きな変換点だと考える。次の時代を見据えながら運営を考えていかなければならない。

Q ネーミングライツパートナーの募集を図り、地域づくりに取り組む考えについて見解はどうか。

A 相沢企画政策課主幹 第7次行政改革大綱の実施計画においても、ネーミングライツなどの自主財源の活用をうたっている。方向性としては、継続的に検討したい。

Q 各施設や事業、道路、公園等、生かすことが考えられるが、新たに整備予定の浜加積福祉センター及び浜加積地区公民館、中滑川駅周辺整備建築施設にネーミングライツの取組は考えられないか。

A 相沢企画政策課主幹 対象施設の選定に当たり、法令等の制限・設置目的や名称の経緯や定着度、地元を含めた市民の理解が得られるか等、愛称を付与することの適否の検討が必要である。両施設への導入もこれらを踏まえ検討する。

一般質問



1 男女共同参画推進について
2 浜の活力再生プランについて
3 人・農地プランについて

浦田 竹 昭 議員



Q 当局提案予定の「市議会における男女共同参画の実現を目指す条例」に、「定数の10分の3未満としないこと」と、具体的数値を挙げることに、「平等原理の侵害」、「逆差別化」に当たらないか問う。

A 櫻井総務課主幹 実効性のある積極的改善措置を念頭に検討したもので、条例案に様々な施策を規定するのは問題ないと考ええる。

Q 「市議会における男女共同参画の実現を目指す条例案」を、取り下げた理由について問う。

A 櫻井総務課主幹 議会が意識され、今後議論をされるのであれば問題ないとの見解である。

Q 当局が意識を持って、「男女共同参画推進条例」を、策定すべきと考えるが見解を問う。

A 地崎生涯学習課長 本市においては、条例を策定することは、今のところ考えていない。

Q 滑川蒲鉾の土地と建物施設の取得に際しての経緯から、その検証を踏まえて、浜の活力再生プランの策定についての見解を問う。

A 長崎商工水産課長 漁港周辺エリアの土地・建物を活用した漁港・観光振興エリアの整備が、漁

港周辺のにぎわいの創出を図る取組の一つとして考えている。

Q 滑川蒲鉾の既存建物の取り扱い、並びに既存建物を解体撤去し、一旦土地を更地にして、ゼロベースからの施設整備の構想・計画検討について見解を問う。

A 長崎商工水産課長 既存の土地、建物施設の活用については現在のところ未定である。

Q 本市の今春の水稲作付農地、遊休農地、耕作放棄農地の現状について見解を問う。

A 黒川農林課長 3年産米の目標が昨年より減産が示されており、水稲作付農地は下回り、遊休農地は上回ると想定している。

Q 農業従事者の高齢化、農業の担い手不足、遊休農地の増加等、現状課題と対応について見解を問う。

A 黒川農林課長 農業従事者の高齢化や後継者不足から農業従事者の減少が見られ、今後の担い手確保が課題になっている。引き続き、新規就農者の支援、認定農業者の育成、耕作放棄田の防止、水路・農道の保全等、関係機関と連携し、国、県の交付金等も活用しながら取り組んでまいりたい。

一般質問



5432 1

新型コロナウイルス感染症の収束に向けた
空き家対策について
観光振興について
WGKチン接種について
GIGAスクールについて



竹原 正人 議員

一般質問



32 1

地域コミュニティを
維持することについて
自動車免許返納の促進について
来年を見据えた観光について



青山 幸生 議員

Q働き盛りの年代になると、仕事を休むなどしてワクチン接種に臨まなければならない。速やかな接種ができる環境を整えるため、市としてどう考えているか。

A結城市民健康センター所長 幅広い年代の方が接種できる機会を多く設けられるよう調整しているところであり、現在、平日の夜間や土・日における個別接種での実施について滑川市医師会と調整を進めている。また、集団接種についても、ニーズを見極めながら、曜日、時間帯、場所や実施頻度を検討して対応したい。

Q今年度、建設部に空家等居住対策課を新設した。去年までと何が違うのか。

A岩城建設部長 新たな課を新設することで、これまでの危険な空き家の解体を中心とした取組に加え、適正管理に関する啓発や利活用の促進など、放置される空き家を防ぐための施策にも積極的に取り組むことができる。

Qコミュニティバスの更新予算が計上されている。以前、策定された地域公共交通網形成計画では本年度更新する予定ではない。どう

いうことなのか。

A石坂生活環境課長 老朽化等により多額の修理費用が必要となったことから、車両更新の計画を前倒しし、新規バスを購入する。

Q今年度のほたるいか海上観光について、1隻体制での実績と課題についてどう検証しているのか。

A網谷産業民生部長 39日間の実施期間中、出航した日数は20日間で約51%の出航率、乗船者数は485人であった。予約率は99%で全日ほぼ満席となった。1隻体制での課題として、定員40人から25人と削減していることから、市内への経済効果を考えると、現在の予約数の35%を占める市内宿泊施設利用者を増やすことが必要と考える。

Qオンライン学習まで使いこなすのは、今の状況だとほど遠い。今後の使い方をどう考えているのか。

A椎名学務課長 既に市内小中学校で新型コロナウイルス感染症の感染予防として、密を避け、リモートで学校行事や集会活動を体育館から各教室へ配信している。活用方法については一層研究してまいりたい。

・キャッシュレス決済促進事業について
・滑川市総合体育センターの修繕について

Q東加積小学校は小規模特認校制度となり転入、入学児童数の変化はどうか。

A椎名学務課長 今年度の新入生は6名であり、うち小規模特認校制度による入学者は3名である。

また他の小学校から転入した児童は8名となる。

Q全校児童は何名か。

A椎名学務課長 新年度の在籍者数は50名である。

Qホームページが少し物足りない。フルスクリーンの背景を駆使しながら魅力を上げ、ホームページを改善できないか。

A伊東教育長 改善したい。主役は子どもであり、笑顔と学びがふれる学校。ここに大自然、スケールの大きな景色を入れたいと思う。

Q地域コミュニティを守るため、各小学校の半径1キロ以内で市道認定をしていない道路を4mに拡張し、市道に格上げするのはどうか。

A北島建設課長 提案の市道整備は一つの方法であると認識する。しかしながら、市内にある各小学校半径1キロ以内には市道認定し

ていない農道が非常に多く存在する。これらの道路を拡幅整備するためには多額の費用が必要となる。

Q高齢者運転免許自主返納支援事業の70歳以上の無料期間を無制限にできないか。

A石坂生活環境課長 コミュニティバスのフリーパス以外に、福祉事業で配布している乗車券を使っ

て頂くことも有効だと考えており、現在のところフリーパスの期限の無期限については考えていない。

Q民間の移動スーパードが営業してきている。買い物難民に対して取り組めることはないか。

A石川福祉介護課長 運転免許の返納があった場合、希望があれば地域包括支援センターに連絡が入る。宅配を行っている店舗であるとか、6月中旬に開始を目指すなど、不安解消に努めている。

Q滑川蒲鉾跡地の活用は観光に使わないのか。PFIを活用してはどうか。

A小川観光課長 土地建物の活用方法については浜の活力再生プランを参考に慎重に検討したい。PFIの活用も検討したい。

一般質問



54321

福祉について
教育について
空襲対策について
防災について
新型コロナウイルス
ワクチン接種について

尾崎 照雄 議員



Q ヤングケアラーに関する課題と求められる支援などの対策についての当局の見解を問う。

A 落合子ども課長 早期に発見し適切な支援につなげることが重要である。しかし、家庭内の事情や感情を含むケースがあることや、本人に自覚がないなどの理由から支援が必要であっても表面化しにくいことが課題であると考えられる。学校とか地域の民生委員とも連携することで早期把握につなげ、福祉、介護、医療、教育等関係機関と協力して、適切な支援が受けられるよう努めてまいりたい。

Q 不登校傾向児に対して課題と求められる支援について当局の見解を問う。

A 椎名学務課長 不登校傾向の原因は一人一人違うことや複合した理由であることも多いと考える。そのため、一人一人にに応じて教職員が自尊感情を高める声かけや面談を行ったり、学校生活の中で活躍し自己有用感を高める場を設定したりしている。学校と家庭、市教育委員会、関係機関が連携し、子どもたち一人一人に応じた支援を行っている。

Q 滑川市特有の永代地上権の問題解決に対する取り組みについて尋ねる。

A 数岸空家等居住対策課長 現在国において、土地の権利の相続登記の義務化等について法整備が進められているところであり、本市としても国の議論や動向を引き続き注視してまいりたい。

Q 令和3年度滑川市防災パトロールの対象区域の住民に対する避難訓練をやるべきと考えるが、当局の見解は。

A 北島建設課長 災害発生時に市民が迅速に避難できるよう避難訓練を行うことは有益だと考えており、今後、避難訓練の実施について検討してまいりたい。

Q 7月に本市で急遽実施されることとなった集団接種に関して、安心・安全に接種が進むように体制は十分なのか。

A 結城市民健康センター所長 医療スタッフについては、滑川市医師会へ協力を依頼し、必要とされる人数の派遣にめどが立っている。受付から接種に至るまで円滑に進むよう、必要な人員を十分に検討し配置することとしている。

一般質問



321

コロナ禍の中で
学校図書館について
学校給食の食材について

開田 晃江 議員



Q 独り親家庭の親や小さな子どもを持つ両親がコロナに罹患した場合、子どもはどのような状況に置かれるのか。

A 落合子ども課長 本市において感染があつた場合は、中部厚生センターと県機関がその機能を担うこととなり、子どもたちにとって最善な対応の判断をしていただいていると考えている。

Q 独り親家庭の親や小さい子どもを持つ両親の優先接種は考えられないか。

A 結城市民健康センター所長 独り親家庭においては、親の感染により親と子双方の精神的負担が大きくなるため、優先接種とする。

Q 保育園、幼稚園、認定子ども園や小・中学校の教員、職員の優先接種は考えられないか。

A 結城市民健康センター所長 それぞれの施設については、感染者が発生すると休園や休校等が必要な場合や、集団感染を未然に防ぐ観点から優先接種の対象とする。

Q 接骨院の先生は医療関係従事者と聞いているが、優先枠でないか。

A 結城市民健康センター所長 柔道整復師は治療の際に患者との距離が

近いことや、高齢者との接触が多いことを考え、高齢者施設等の従事者と同様の扱いとする。

Q 小学校学校図書館に蔵書検索ソフトの導入について伺う。

A 椎名学務課長 検索システムによつてかなりの時間が短縮していろんな学習ができるとなれば、検討していきたい。

A 上田市長 この教育のまち滑川において、遅れをとっていることが分かった。検索システムを組み、学校同士のつなぎも行う。

Q 有機農産物を利用した学校給食への試みなど予定していないか。

A 椎名学務課長 学校給食共同調理場では、一日当たり約3千食を調理しており、供給量の確保は難しいことから有機農産物を利用していないが、食育の推進のため調査研究していきたい。

Q 食だけでも有機米や有機野菜の食材で献立はできないか。

A 黒川農林課長 市内では上梅沢有機米研究会の方々が、減農薬した米を作っておられることもあり、今後相談し、給食調理場とも調整し、できれば学校給食に提供していきたいと考えている。

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、9月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

一般質問



- 1 農業の振興について
- 2 市民による模擬議会の開催について

原 明 議員



Q 担い手の減少と高齢化が本格化する中、スマート農業の推進が積極的に行き入れられているが滑川市の状況について伺う。

A 黒川農林課長 ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化精密化や高品質生産を実現するスマート農業の研究、実証が進められている。農業機械の導入に助成を行っており、3経営体に対し農業散布ドローン導入の支援を行っている。今後も農作業の省力化や農業用機械の自動化等に支援し、スマート農業の推進に努めていきたい。

Q 認定法人などの経営体の現状はどうか。

A 黒川農林課長 農業の中心となる担い手については、現在、個人が54、法人が19、任意団体が4組織となっており昨年と比べ数は一緒になっている。

Q 担い手の育成を含め、将来の経営体の在り方、農業、農地の持続的な活用や維持のために、滑川市での新しい農業を考えていく組織作りの準備に取りかかるべきと思うが、見解を伺う。

A 黒川農林課長 市では、人・農

地プランの状況報告や見直しを行うため、富山農林振興センター、J Aアルプス、農業委員会、認定農業者協議会、営農組合連絡協議会、農村婦人研究会、農村女性グループ連絡研究会の方々と委員とした滑川市人・農地プラン検討会を開催し、意見を聞いている。新たな組織の立上げについては考えていないが、富山農林振興センターやJ Aアルプス等関係機関と協議し、必要とあれば検討していきたいと考えている。

Q 市民の皆さんの様々な視点から捉えた意見や提案を市政に反映させる青年議会の開催について伺う。

A 相沢企画政策課主幹 意見や提案を市政に反映させる場については、市長と語る会が市民に定着していると考え、青年議会、女性議会は、市民の政治参加への意識の醸成の場として期待されるものと認識している。今後、社会教育、男女共同参画の促進という面で考えていきたい。

その他の質問
・農業用水路での転落事故防止対策について

一般質問



- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- 2 コミュニティバスについて
- 3 行田公園について
- 4 通学路について

角川 真人 議員



Q 高齢者施設で従事している職員、通所施設や在宅介護の職員へのワクチン接種の状況はどうか。

A 結城市民健康センター所長 4月23日から入所施設内に従事し、接種を希望する職員を対象に行っている。通所施設や在宅介護職員についても、対象範囲を拡大し接種を行えるよう調整している。

Q ワクチンを接種しても感染拡大にはまだまだ注意が必要である。高齢者施設などで、PCR検査を定期的に行う必要があると思うがどうか。

A 石川福祉介護課長 県において高齢者施設等の従事者に対する検査を進めている。ワクチンを接種していない高齢者施設の従事者や、障害福祉サービス事業所についても、7月中旬頃から接種できるよう調整しているため、施設における定期的な検査は想定していない。

Q 地域公共交通網形成計画の中に、車両更新時に小型バス導入検討とある。今回の更新においてどう検討されたか。

A 石坂生活環境課長 小型バスの検討も行ったが、乗客の乗りこぼし等の可能性もあり、導入を見送ったところである。

Q バスの規格を変更するかという検討はどういったタイミングで行っているのか。更新の直前か、あるいは1年ほど前から検討するのか。

A 石坂生活環境課長 乗客数の経年の変化等を踏まえた上となるため、購入のぎりぎりの時期になる。

Q 行田公園の水生植物のあったすいれん池を今後どうするのか。

A 荒俣公園緑地課長 現在は水を管理する機能が老朽化により使用できなくなり、使用を中止している。

Q 修繕はできないか。直す場合どのくらいかかりそうなのか。

A 荒俣公園緑地課長 この池は3層構造になっておりサイホン方式で給水する仕組みとなっている。直す際にコンクリート部分を壊す必要があるため、100万円以内では終わらないとみている。

Q 市内各地で歩道改良の計画が進められている。事故や大きな破損がなく、ただ老朽化しているようなところも、一度点検、補修するべきではないか。

A 北島建設課長 道路パトロールを強化し、損傷箇所や老朽箇所を確認、適切に管理したい。

特別委員会の開催について

議員定数及び 報酬検討特別委員会

令和3年5月18日、第3回目となる特別委員会協議会を滑川商工会議所で開催しました。

今回の協議会は、滑川商工会議所から昨年1月に提出された要望書に基づき開催の運びとなりました。



始めに、議会事務局から市議会の

構成等として、現在の定数や常任委

員会、特別委員会の説明を行い、議

員定数及び報酬検討特別委員会につ

いては、商工会議所からの要望を受

けて、文字どおり議員の定数と報酬

に関する調査研究、検討を行うこと

を目的に、全議員で構成し、令和2

年3月に設置して議論を重ねている

ことを報告しました。

続いて、定数と報酬の現状として、

県内及び類似団体の市議会の状況や

比較について説明を行いました。

また、滑川商工会議所の杉田専務

理事から要望に至った経緯の説明が

あり、その後、出席者が意見交換を

行いました。

意見交換では、定数と報酬に関わ

る問題の一つでもある、議員のなり

手不足についても多くの意見をいた

だきました。

◆主な意見等

・議員を志す人が議員になれるような環境を作っていかなければならない。

・他の市町村がどうかではなく、滑川市独自で他の市町村のモデル

となるようなものを作らなければ

ならない。

・議員としての活動が、市民にもつ

と見えるような「見える化」が必

要ではないか。

・滑川市をいかに良くしていくか、

そのために必要なものは、皆さん

で作り上げて欲しい。

・なり手不足の原因が議員報酬であ

れば、予算を出すか、定数を減ら

すかしかないのではないか。

・商工会議所の役員でも様々な考え

方がある。このような機会を設け

られたことは良かったと思う。

協議の結果、報酬については、結

論を急がず、継続して協議していく

こととしました。定数についても、

報酬と一体として議論すべき必要が

あるため、議員各位において、配布

資料等も参考にしながら、引き続き、調査研究をすることとしました。

今回の意見や要望をしつかりと受け止め、民意を反映するための努力を全議員で取り組むこととしました。

情報技術調査 特別委員会

令和3年5月25日、第2回目となる特別委員会協議会を開催しました。
(写真Ⅱ表紙)

今回は、各議員が実際にタブレットを操作してコロナ禍で注目されているZoom会議を体験しました。

また、Zoom会議を通じて、ペーパーレス化の実現に向けての研修も併せて行い、既にペーパーレスを導入した自治体の先進事例の説明を受けました。

委員からは、タブレットを利用することに対してのデメリットや業務効率化のためにペーパーレスを進めるにあたっての負担などについて意見交換が行われました。

意見書

件名及び提出者

処理結果

・意見書(3件)

- 1 日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書……議会運営委員会不一致
2021年原水爆禁止国民平和実行委員会 代表委員 中山 洋一
- 2 日本政府に核兵器禁止条約への参加・調印・批准を求める意見書……議会運営委員会不一致
滑川市平和委員会・滑川9条をイカす会 世話人 中瀬 益雄
(1と2を併せて議員提出議案第4号へ)
- 3 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守る国への意見書……議会運営委員会一致
富山県医療労働組合連合会 執行委員長 前田 洋志 (議員提出議案第5号へ)

議決結果

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議案第27号	令和3年度滑川市一般会計補正予算(第1号)	総産	原案可決
議案第28号	滑川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第29号	滑川市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除又は不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第30号	滑川市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第31号	滑川市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第32号	滑川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第33号	滑川市重度心身障害者等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第34号	滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第35号	滑川市総合体育センター条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第36号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて 専決第5号 令和2年度滑川市一般会計補正予算(第9号) 専決第6号 滑川市税条例等の一部を改正する条例の制定について	総産	原案承認
議案第37号	富山県市町村総合事務組合規約の変更について	総	原案可決
議案第38号	滑川市監査委員の選任について		原案同意
議員提出議案第2号	滑川市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について		原案可決
議員提出議案第3号	滑川市議会議員政治倫理条例施行規則の一部を改正する規則の制定について		原案可決
議員提出議案第4号	日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書		原案否決
議員提出議案第5号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書		原案可決
議案第39号	令和3年度滑川市一般会計補正予算(第2号)(第1回臨時会)	産	原案可決
議案第40号	第1坪川踏切拡幅工事に関する協定の締結について(第1回臨時会)	産	原案可決

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会

賛否一覧表

議 案 議員名 会 派	会 派 自 民				共 産 党 議 員 団		無 会 派						
	原 明	岩 城 晶 巳	中 川 勲	高 橋 久 光	角 川 真 人	古 沢 利 之	大 浦 豊 貴	脇 坂 章 夫	青 山 幸 生	竹 原 正 人	尾 崎 照 雄	浦 田 竹 昭	開 田 晃 江
議案第27号から 議案第38号	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案提出議案第2号、 第3号及び第5号	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案提出議案第4号	●	/	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●
日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書													
議案第39号 (第1回臨時会)	○	/	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○
令和3年度滑川市一般会計補正予算(第2号)													
議案第40号 (第1回臨時会)	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※賛成者は○、反対者は●としています。※議長は採決に加わらないため「/」としています。



左記QRコードから
YouTube滑川市議会
チャンネルにアクセス
できます。



永年勤続議員表彰
第97回全国市議会議長会に
おいて、議員15年以上特別表
彰として、岩城晶巳議員、原
明議員が表彰されました。

議会改革度調査

2020 発表

毎年、早稲田大学マニフェスト
研究所が実施している「議会改革
度調査2020」において、滑川
市議会が284位にランクされました。
(昨年は187位)
情報共有、住民参画、機能強化
の部門ごとに評価され、滑川市議
会は住民参画部門で全国83位(県
内1位)となっています。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さ
んのご意見をお寄せください。
市議会の本会議は、ケーブルテ
レビで放送しておりますが、議場
で直接、傍聴してみませんか。
詳しくは、事務局までご連絡く
ださい。

電話 47512111
(内線371)

【議会報編集委員】

角川真人委員長
脇坂章夫副委員長
大浦豊貴委員
青山幸生委員
浦田竹昭委員
中川勲委員

議会の傍聴をしてみませんか？

滑川市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴の手続きはとても簡単です。代表質問・一般質問での議員と市当局とのやりとりを生でご覧になってみませんか？ぜひ、お誘いあわせの上、傍聴においでください。

市議会YouTube「はじめての傍聴」もご参考にしていただければと思います。

傍聴は簡単 3ステップ

ステップ1 市役所に行く

議会があるのは市役所の3階。
まずは議会事務局へ行こう。



議会があるのは
このあたり

予約不要!!

ステップ2 申込み書類を書く

書くのは住所、氏名のみ。
書いたら傍聴証と書類をもらおう。



受付は30秒で終了♪

超簡単!!

ステップ3 議場に入る

入ったら椅子に座り、話を聞くだけ。
わからないことがあったら、書類を
見てみよう。



議場にはこの扉から

静かにね

ポイント

★新型コロナウイルス感染症対策として、傍聴席の入り口ドアを常時開けてあります。
また代表質問や一般質問の際には、質問が1人終わる度に休憩を入れ、その間に、議場内の換気、アクリル板やマイクのアルコール消毒を行っています。

9月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘要
9月2日(木)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
9日(木)	10時	代表、一般質問
10日(金)	10時	一般質問
13日(月)	10時	総務文教消防委員会
14日(火)	10時	産業厚生建設委員会
15日(水)～22日(水)	10時	決算特別委員会
27日(月)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決